



まで争いまして、雇われてる身であるということ、労災が降りるようになったんです。それに準じて監督も労災は降りるということになったんですが、ただそこで「労働者」であるという主張をすると著作権が取れなくなるんですね。じゃあ、監督の身分というのは何かと言うとですね、法律で言う「一人親方」——「大工」ですね。「大工」と同じなんです。(笑)大工の方を決して貶める訳じゃありませんが、何となくガツカリしたような……。

私、その監督なんですが、サンプル頂けませんか？

五円の廉価版で売られているという書き込みがありました。監督の私、知らないんです。五二五円の廉価版って「名画かよ！」と思いましたが(笑)。そこですぐ原作者で尚且つシナリオも書いている大川興業の大川豊さんに電話しますと、大川興業もそれを知って、スタッフが買って来ました。「買うなよ！」と言ったんですけど(笑)。販売している会社へ私、電話しましてですね、「あの、すみません、そちらから出てるDVDの監督した者ですけども、サンプル頂けないでしょうか？」ってね(笑)送って貰いまして、五二五円のモノを手に入れたんです。

何でこういうことになったのかと言うと、創ったメーカーが、これ発売してすぐ倒産したんです。恐らく債権者が権利を安く売ったんでしょね。これを出してる会社は、アメリカのテレビ映画とかを出してる会社なんですけども、そこがこのDVDを販売したという事なんです。但し、中味が改正されていたら、これは著作権法違反になるんです。監督には著作隣接権というのがありまして、勝手に中味を改造してはいけません。だから、廉価版で出すのに短くしたり、カットしたりすると、これは中味を改竄したという事で法律違反になるんです。

だから、テレビ放送でカットするとかいう時は、監督の許可を得なければいけないことになるんです。

当然、Vシネマなんか、ちよつとH物だと、ボカシ入れるとか、あるんですよ。この辺から、段々柔らかい話をしていきますけど(笑)。昔は、勝手にボカシ入れられたりしたんですね。だけど、それはちよつとまずいんです。ボカシを入れるということからは、絵を改竄するという事で、絵を改竄するとい、OKを得なきゃいけないわけです。「ボカシ、入れていいですよ。立ち会わなくても」と監督がOKすればいいんですけど。

あと、何が監督の権利かと言いますと、発表権ですね。いつ、何処で発表するか。映画だと封切り、テレビだと放映をいつするか。それと氏名の公表権。監督誰々だという名前を必ず表記することとか、逆に、名前を載せてくれるな、という事も出来るんですね。カラオケビデオなんか、名前は出さないでくれなんて方が結構多いんですよ。

そこで印税なんですけど、著作権がないのですから、法律的には印税ってのは派生しないんですね。ビデオが出た場合、印税は監督協会と製作者連盟との取り決めで、売上の一・七五%を監督、脚本家、

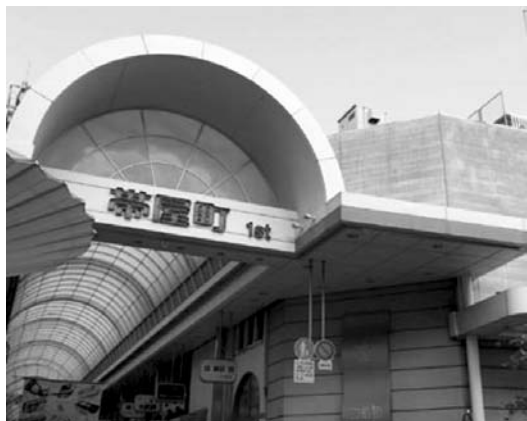
音楽、原作者に払うということが決っています。これはあくまで団体同士の取り決めです。製作者連盟入ってなくても、監督する時の契約で、今回は印税は派生するから……、という約束をすれば印税が入ってくる、ということなんです。

シネコンが、

シャッター商店街を作る

さて、今日のテーマはですね、『アナタは最近、映画館で映画見えますか？』なんて、喋る内容を決める前に、題を決めてくれて言われて、勝手に題を付けたんです(笑)、でも、やっぱり何かそれについて喋んなきゃいけないですよ。

何でこんな題付けたのかと言うと、気になってたのがシネコン(シネマコンプレックス…複合映画館)なんです。今、そのシネコンが、凄く増えて来まして、高知にも出て来ますよね。今、映画館の数ってのは増えてるんですよ。それに映画人口ってのも増えているんで



帯屋町もシャッター商店街に

す。ところがシネコンが出来る地域は、帯屋町の映画館、全部潰れました。今、高知市内で残ってるのは、あそこ劇場が名画座で残っているのと、あと、小劇がピンク映画で…、この二館だけです。あとは全部潰れてしまいました。

それと上映する映画も、大手の映画会社が経営してますので、この映画館行っても、お客さんが入るヒット作ばかりやっています。ちよつと味のあるアート系の映画

なんかは、なかなか上映されないことになってしまいます。ウチの母なんか、よく帯屋町に買い物に行ったついでに、映画でも見ようかってのが、ついでに映画を見ることが出来なくなりました。わざわざ「山」（南秦泉寺のシネコン）まで映画を見に行けないですよ。勿論、シヨップピングセンターと併設されているので、そこで買い物する人は、ついでに映画見ようかってことにはなるんですが、基本的に車のある若者向けの施設です。なかなかお年寄りとかは映画に行けないですよ。映画見するために、バスに乗って「山」まで行かないですよ。街中に出れば、ついでに見るってことが出来たんですけれど…。そういう意味では、映画館や映画人口は増えているんですけど、見られない人も増えて来ているんです。

それとですね、若者の映画館離れてのがありまして、今の若い人は殆ど映画館で映画を見たことがないんですね。映画ってのはビデオで見るといいんです。たまたま何か大ヒットして話題になっているから、お金を払って映画館に行こうってのは、特別なことなんです、今の若い人にとっては。

この中にも学生の方いらっしゃると思いますが、確かに日本の映画料金って、世界一高いんで

すね。全興連に言わせると、「日本は物価が高いから、高くて当然だ」って言うんです。日本の物価水準ってアメリカと同じなんですけど、映画料金はアメリカよりもずっと高いんです。高い料金取らなければ、映画館もやってけないって事情もあるんですけど、『釣りバカ日誌』がいつも千円でやってますよ。するとお客さん入るんですよ、安くすれば。その辺、もって考えて貰ってもいいと思うんですがね。

危険な(?)ビデオより

映画館の大スクリーンで

やっぱり違うんですよ、映画館で見ると、自宅でビデオで見るとは。例えば殺人なんかがあったら、「映画を見て殺したくなった」などと、すぐに映画とかビデオが問題視されたりします。

例えば殺人のシーンとかあっても、終って電気点く。すると回りに人が一杯いて、「ああ、今のは映画だったんだ」ってことで日常に戻るんです。ところが、ビデオで自宅で見ているとですね、殺人のシーンで「ああ、凄えな、人殺してるなあ！」とそのシーンの中に入ったままなんです。じゃ、これか



ら殺しに行こうか!」っていうふうにね(笑)。

ビデオというのは、本当に非常に危険な媒体だと思うんです。この前ちよつと聞いたんですけど、映画ってというのは反射ですよ。映画機から投影されたものが、スクリーンに反射しそれを見る。ビデオってのは発光体なんです。画面が光っているんです。それを見るわけで、やっぱり脳に与える刺激が全然違うんだそうです、スクリーンで見ると、ビデオで見るとは。ビデオってのは本当に危険な媒体だということ、認識しておいてほしいですね。特にお子さんのいる方とかはね。

今、殆どの人が映画をビデオで見ているようなんですが、是非ですね、映画館に行つてほしいんです。まあ、我々監督としては、ビデオが売れた方が印税が入るんですけど(笑)。やっぱり、映画ってのは大きなスクリーンで見ると、全然感動に創られていますので、全然感動

が違います。映画館で見て感動した映画も、ビデオで見るとこの程度かっというようなことも結構ありますよ。是非、映画館で見たいと思います。

私の作品でビデオで手に入り易くお薦めの作品は、『転校生』のリメイク、『転校生』さよならあなただ。これは大林監督から、五日で本書けつて言われまして(笑)、本当に五日で書いてですね、そこで直しの打合せで大林監督ところに行つて、二時間倒れてしまったんです(笑) 大変面白いんで、是非見て下さい!

それともうひとつ、『空へ 救いの翼』という作品です。これは國見先輩の推薦の自衛隊のレスキュー隊、救難隊の話でして、これも今年DVDが出ています。今年の角川のお正月映画だったんですけども、これも一昨年、本を書き始めたときに、自民党が負けて防衛省の人事異動で広報担当も代わり、基地にシナハン(シナリオハンティング)に行けなくなつたんですね。実際の基地を全く知らないんで、それで本書けつて言われても書けませんよ。その数カ月間に防衛大臣が三人代わりまして、全然、基地に行けないし、取材が出来ない。そんな中でやっと去年の一月に石川県の小松基地へ行ったんですけど、行った翌日の朝、イージス艦



が漁船とぶつかりまして、この映画出来るのかなあつて心配になりました(笑)。本の中にイージス艦も出て来るんですけど、「それ、出さないようにしてくださいよ」なんて言われたりもして(笑)。まあ、出来上がった映画には、ちゃんとイージス艦も出ていますけど。ちよつと大変な思いをして書いた映画でした。

実はこの映画はですね、かなり自衛隊員の方々がDVDを買ってくれているようですので、獲らぬ狸の皮算用で、今とっても楽しみにしているところなんです(フッフ)。

シルバー エンジェル賞で

不覚! ベロベロ……

(ここで、國見先輩より質問)

國見「国際的な賞を取つたけど、金は入らなかつたという話を聞いたのだが……」

その話ですね、教育ビデオで

『視覚障害者の福祉入門』という作品でして、日本盲人〇〇センターがシリーズで年に一本出しているものなんです。

それが、アメリカのエンジェル・アワードという、年に一回、いろんな映像作品に対して賞を出しているのがありまして、そこで「シルバー・エンジェル」に選ばれて賞を戴きました。この賞は「作品賞」なんです。『作品賞』というのは、プロデューサー、会社に行っちゃうんですよ。だから、エンジェルの形をした銀色のトロフィーを見せて貰いました、一応、賞を取つたという証拠写真も撮つたんです。ただ祝賀会の時に写した写真でとても公表出来ないんですよ。真つ赤な顔してトロフィー掲げて(笑)。

ところが、賞を取つたとたんなんです。このシリーズ、もう十年以上、それに僕の前に先輩の監督が二十年以上創っていたのですが、それが打ち切りになつたんです。

何故かと言うと、日本盲人〇〇センターに厚生省から天下りがやって来まして、今まで一社で創っていたのを、これからは他の会社にも入札をさせて創るとその天下りの役人が言い出したんです。そこで、今までシリーズを創ってきた会社の社長もキレてしましまして、「イ

イですよ。もうずっとウチは安い予算で赤字でやってるから、どうぞ、競合でやって下さい!」と。それで打ち切りになつちやいました。もうロクなモンじゃない……。すいません、官僚の方(笑) ということもありまして。



トロフィーと酔~たんぼの私

あと、いろいろ質問とか……。柔らかな話、ここでは言えない話もいろいろあります。AVの撮影はどういうふうにするかとかですね(笑) まあ、その辺は懇親会の席で聞いて頂ければ、答えられる範囲で……。ああ、ネットに書かないで下さいね! 今はすぐにネットに書き込むんで、アブナイ、アブナイ(笑)。

ここだけの話つてのが、今、出来なくなつたんです。今、喋つたことも、これ「あさかぜ」に載せるんですよ。まずいとこは自分で検閲しなくては(笑)。段々取ると保身に回つてます! というところで、失礼します。

特別講演 2

高知県の現状と
課題について

高知県東京事務所 所長
浜田正博（12期）



高知県東京事務所の浜田です。12期です。東京事務所の役割はいろいろありますが、知事の尾崎から「首都圏で高知県の応援団を作れ」との指示がありました。というのも、高知県はあらゆる面で元気がない。そのため去年1年かけて産業振興

計画を策定し、この4月から実行に移しているところですけれど、高知が元氣を取り戻すためには、この計画が成功するか否かにかかっています。成功するためには県外に在住している高知県関係者の方々のご支援が絶対に必要と考えております。



「高知県の現状と課題」ですが、「全国に先行した過疎と高齢化」では、平成17年には中央部の高知市及びその周辺のわずかな市町を除いて、過疎と高齢化の地域になり、人口は減少の一途をたどっており、高齢化率も全国平均より10年も進んでいます。

「全国から取り残された経済と雇用情勢」では、本県の製造品出荷額は平成19年には5、955億円まで減少、20年は沖繩に抜かれまして47位となっています。また、平成18年の本県一人当たりの県民所得は217万円、全国平均は3

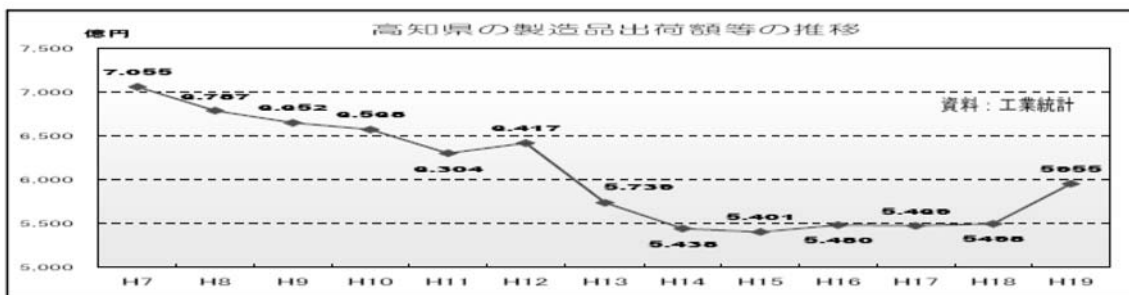
高知県では、全国に約10年先行して高齢化が進んでおり、本県が現在抱えている課題はすべて、10年後の全国的な課題となる。



注) 都道府県の将来人口推計(H19.5月推計)(国立社会保障・人口問題研究所)

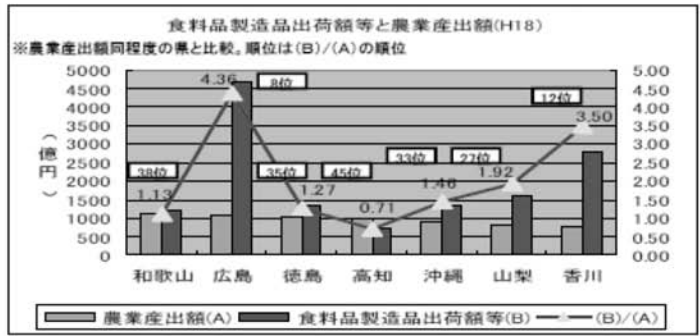
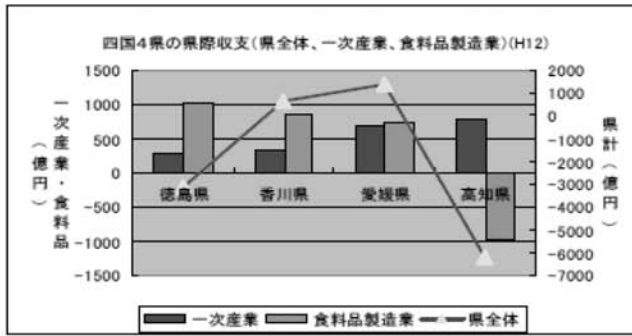
07万円です。全国の約7割、東京都の約二分の一という状況です。また、高知県は一次産業に強みを持つているにも関わらず、食品加工への取り組みが遅れています。現在「産業振興計画」を作りまして、懸命に取り組みを開始したところ。雇用失業情勢の地域間

- 製造品出荷額等は、平成7年の7,055億円をピークに、平成19年は5,955億円(全国46位)に減少しており、45位の鳥取県の1兆1,386億円の約半分にすぎない。
- 本県の一人当たり県民所得は、全国平均の約7割(H18年 高知県217万円、全国平均307万円)



格差」では、就業者数は減少の一途をたどっておりまして、それも若い就業者が減少しています。

○ 第1次産業の強みを活かした食品加工への展開、食品周辺の産業への広がりが乏しいため、わざわざ県外で加工せざるを得ないなどの機会損失が生じている。



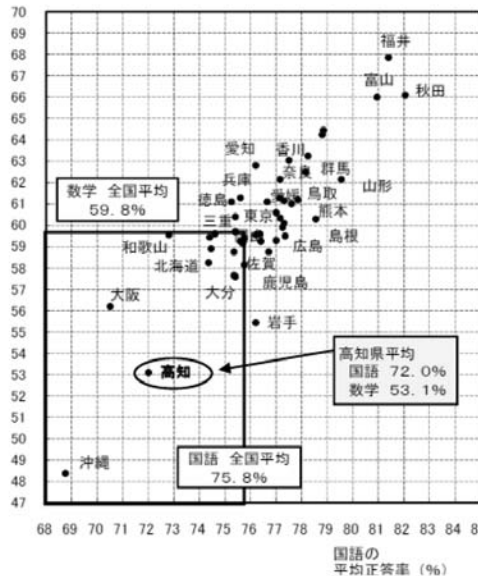
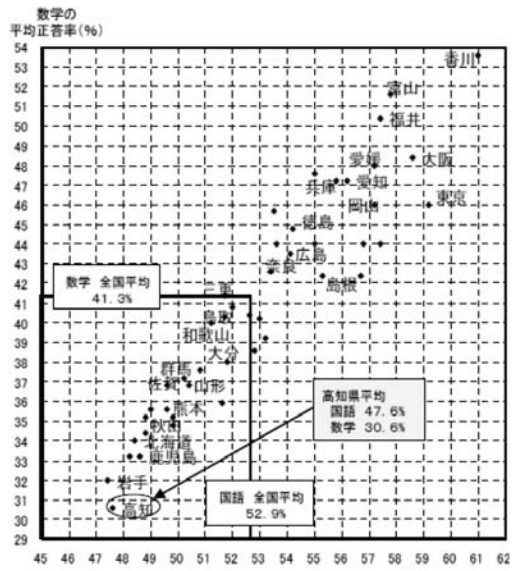
資料:各県産業連関表(平成12年)、工業統計、農林水産統計

児童・生徒の学力

☆ 昭和39年の全国調査では、学力状況は全国的にもバラツキがみられたが、40数年経った現在では高知県だけが取り残された状況

昭和39年度全国中学校学力調査

平成21年度全国学力・学習状況調査(中学校)



「待ったなしの教育危機への対応」では、児童生徒の学力は平成21年度、全国学力・学習状況調査の結果で、中学校は、全国水準を大きく下回っておりまして全国第46位です。さらに生徒の体力は、平成20年度の結果ですけれど全国最

下位クラスとなっております。「安心できる地域の医療と福祉サービスの確保」では、医師の3つの偏在として、「地域の偏在」として県内の4つの医療圏のうち中央医療圏に8割が集中していること、「診療科の偏在」として安芸医

医療圏毎の医師数の分布状況



療圏と高幡医療圏で特に小児科医・産婦人科医が不足していること、「年齢の偏在」として救急医療を担う医師が不足をしていることが顕在化しております。

厚生労働省「医師、歯科医師、薬剤師調査」(平成18年12月31日現在)